

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

消費税の増税に反対し、 食料品他の生活必需品に 消費税を課税しないことを求める請願書

紹介議員

請願者

請願趣旨

消費税は1989年に「福祉のため」と導入されました。しかし、その後、医療制度、年金制度など社会保障制度は後退をつづけています。消費税導入後の消費税額は累計で213兆円、同じ時期の法人税の減収は183兆円にもなります。消費税は福祉のために使われたのではなく、法人税の減税に使われたといえます。

消費税は赤ちゃんからお年寄りまで、収入のいかんにかかわらず負担しなければならない税金です。所得の低い人ほど負担割合の高い不公平な税金です。

政府は1999年に景気対策のためにと導入した恒久的減税3点セット（法人税の減税、高額所得者の減税、所得税・住民税の定率減税）のうち、定率減税のみを2007年に廃止しました。法人税や高額所得者の減税はそのまま、庶民にだけ負担を押しつけています。

今、格差と貧困が深刻な問題となっています。消費税や国民に負担を押し付ける税制改革は格差と貧困を生み出すしくみそのものです。私たちは、「生活費に税金はかけない」「大企業や高額所得者などは、負担能力に応じて税金を払ってもらう」などの税金の原点に戻ることが必要であると考えます。

以上の趣旨から、以下のことを請願します。

請願項目

- 一、消費税を増税しないこと
- 一、食料品他の生活必需品に消費税を課税しないこと

氏名	住所

署名呼びかけ団体：消費税の増税に反対する関西連絡会
署名取扱い団体